

重篤患者数実績

当院では患者の皆様様に安全で質の高い医療を提供するため、毎月応需状況などの改善に向けた検討を実施しております。

番号	疾病名	基準(基準を満たすもののみ数えること)	平成24年度 ※1			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度(12月末迄)※2		
			患者数 (人)	退院・転院 (転院を含む) (人)	死亡 (人)	患者数 (人)	退院・転院 (転院を含む) (人)	死亡 (人)	患者数 (人)	退院・転院 (転院を含む) (人)	死亡 (人)	患者数 (人)	退院・転院 (転院を含む) (人)	死亡 (人)	患者数 (人)	退院・転院 (転院を含む) (人)	死亡 (人)
1	病院外心停止	病院前心拍再開例、外来での死亡確認例を含む	62	9	53	119	25	94	128	26	102	128	24	104	99	25	74
2	重症急性冠症候群	切迫心筋梗塞、急性心筋梗塞又は緊急冠動脈カテーテル施行例	12	12		5	5		9	8	1	27	27		33	32	1
3	重症大動脈疾患	急性大動脈解離又は大動脈瘤破裂	3	3		2	2		7	5	2	4	4		2		2
4	重症脳血管障害	来院時JCS 100以上、開頭術、血管内手術施行例又はtPA療法施行例	24	10	14	20	15	5	20	14	6	41	35	6	20	15	5
5	重症外傷	Max AISが3以上又は緊急手術施行例	42	38	4	79	75	4	110	103	7	130	128	2	68	68	
6	重症熱傷	Artzの基準による	1	1		3	3		4	4		3	3		4	4	
7	重症急性中毒	来院時JCS 100以上又は血液浄化法施行例	6	6		20	20		13	13		5	5		6	6	
8	重症消化管出血	緊急内視鏡施行例	11	9	2	18	17	1	36	36		69	67	2	33	33	
9	重症敗血症	感染性SIRSで臓器不全、組織低灌流又は低血圧を呈する例	15	10	5	15	14	1	39	31	8	67	56	11	39	32	7
10	重症体温異常	熱中症又は偶発性低体温症で臓器不全を呈する例	3	3		4	4		4	4		4	4		1	1	
11	特殊感染症	ガス壊疽、壊死性筋膜炎、破傷風等				1	1		1		1						
12	重症呼吸不全	人工呼吸器管理症例(1から11までを除く。)	18	13	5	27	23	4	35	33	2	41	35	6	20	18	2
13	重症急性心不全	人工呼吸器管理症例又はSwan-Ganzカテーテル、PCPS若しくはIABP使用症例(1から11までを除く。)	7	7		12	10	2	22	19	3	21	21		9	8	1
14	重症出血性ショック	24時間以内に10単位以上の輸血必要例(1から11までを除く。)				5	4	1	3	3					1	1	
15	重症意識障害	JCS 100以上が24時間以上持続(1から11までを除く。)	2	2		31	31		5	4	1	11	11		4	4	
16	重篤な肝不全	血漿交換又は血液浄化療法施行例(1から11までを除く。)															
17	重篤な急性腎不全	血液浄化療法施行例(1から11までを除く。)	2	2		3	3		2	2		9	8	1	7	6	1
18	その他の重症病態	重症肺炎、内分泌クレーゼ、溶血性尿毒症性症候群などで持続動注療法、血漿交換又は手術療法を実施した症例(1から17までを除く。)				21	21		2	2		1	1				
合計 (年間重篤患者数) →			208	125	83	385	273	112	440	307	133	561	429	132	346	253	93

分類条件:一つの症例で複数の項目に該当する場合は、最も適切なもの一つのみを選択する。

※1 平成24年12月1日に第三次救急医療機関である「救命救急センター」として指定を受けたためそれ以降の受入を計上しております。

※2 平成28年度は途中集計であり、平成28年12月末までの即時集計であり変動致します。